



2026年5月18日

各位

会 社 名 ONE GROUP 株式会社
(コード番号 6168 TOKYO PRO Market)
代 表 者 名 代表取締役社長 田中 文彦
問 い 合 わ せ 先 経営企画室長 南海 幸介
電 話 番 号 06-6787-1818
U R L <https://www.1group.co.jp/>

「TOKYO PRO Market への上場目的の開示」に関するお知らせ

当社は、TOKYO PRO Market への上場にあたり、以下のとおり、TOKYO PRO Market 上場の目的並びに上場目的の実現に向けた追加情報をお知らせいたします。

1. 上場の目的

当社グループは、「世界に、ひとつ。One for group, Group for one.」をブランドメッセージに掲げ、日本のモノづくりを支える企業が有する独自の技術、品質、人材及び顧客基盤を承継・発展させ、グループ各社が互いに支え合いながら、世界をリードするモノづくりチームとなることを目指しております。

日本には、小規模でありながら、長年にわたり技術を磨き、誠実に挑戦を続けてきた企業が数多く存在します。一方で、後継者不在、人材不足、成長投資、管理体制の整備等の課題により、その技術や企業価値が十分に承継・発展されないケースもあります。

当社は、TOKYO PRO Market への上場により、当社グループ全体としての社会的信用力、知名度及び透明性を高め、M&A 候補先、金融機関、取引先、役職員その他のステークホルダーからの信頼を得ることで、M&A を通じたグループ拡大、各事業会社の持続的成長及びグループ全体の企業価値向上を実現することを主な目的としております。

また、上場会社として求められる情報開示、内部管理体制及びコーポレート・ガバナンス体制を一層強化し、当社グループが長期的に信頼される企業グループとなるための経営基盤を構築してまいります。

なお、当社グループは、上場目的の実現状況を評価する指標として、M&A 候補先、金融機関、M&A 仲介会社その他専門家からの案件紹介件数、M&A 検討件数及び成約件数、グループ会社数、連結売上高、当期純利益、並びに内部管理体制及びコーポレート・ガバナンス体制の整備状況等を重視してまいります。特に、M&A については、対象会社の収益性、技術力、当社グループとの親和性及び PMI の実行可能性を慎重に見極めながら、年間2件程度の実行を一つの目安として、グループ全体の企業価値向上を図ってまいります。

2. 追加的な情報開示

(1) 中長期的な成長戦略

当社グループは、M&A を通じて、日本のモノづくりを支える企業が有する技術、ノウハウ、人材及び顧客基盤を承継・発展させることを、中長期的な成長戦略の柱としております。

具体的には、独自の技術力、品質管理力、顧客対応力及び地域に根差した事業基盤等を有する企業をグループに迎え入れ、当社が持株会社として、M&A 後の PMI を実施するとともに、経営管理、財務管理、人材採用、内部統制、コンプライアンス、IT・DX、生産技術、生産管理及び営業等の支援を提供することで、各社の強みを活かしながら、グループ全体としての成長を図ってまいります。

当社グループは、単なる事業規模の拡大を目的として M&A を行うのではなく、創業者や経営者が長年にわたり磨き上げてきた技術、社員一人ひとりの想い、取引先との信頼関係、地域社会への貢献を尊重し、これらを次世代へつなぐことを重視しております。

「One for group, Group for one.」の考え方のもと、グループ各社が互いに認め合い、助け合い、ともに成長することで、一社では実現し得なかった成長機会を創出してまいります。

TOKYO PRO Market 上場による信用力及び知名度の向上を活かし、M&A 候補先、金融機関、専門家等からの案件情報の獲得機会を拡大するとともに、M&A 実行に必要な資金調達力、買収後の PMI 及びグループ管理体制の強化、並びにグループ各社における人材採用力及び組織力の向上を図ってまいります。

当社グループは、当該成長戦略の進捗を測る指標として、M&A 案件の紹介件数、検討件数及び成約件数、買収後の PMI 計画の策定・実行状況、グループ会社数、連結売上高、当期純利益、並びにグループ各社における人材採用数及び組織体制の整備状況等を継続的に確認してまいります。

また、M&A の実行にあたっては、案件数のみを追求するのではなく、対象会社が有する技術、顧客基盤、人材、収益性及び当社グループとの相乗効果を重視し、年間 2 件程度の M&A 実行を一つの目安として、持続的な成長基盤の構築を進めてまいります。

(2) 上場予定市場

当社グループは、東京証券取引所スタンダード市場への上場を目標としております。

東京証券取引所スタンダード市場は、公開された市場における投資対象として一定の流動性を持ち、上場企業としての基本的なガバナンス水準を備えつつ、持続的な成長と中長期的な企業価値向上にコミットする企業向けの市場であり、当社グループの上場目的及び中長期的な成長方針と合致するものと考えております。

(3) 一般市場への上場目標時期及び上場準備スケジュール

現時点において、一般市場への上場時期は未定であります。当社グループは、TOKYO

PRO Market への上場を、将来的な更なる成長に向けた重要なステップと位置付けております。

当社グループは、東京証券取引所スタンダード市場への上場を目標としており、当期純利益 5 億円の達成を一つの目安として、グループ規模、収益性、株主構成、資本政策、市場環境及び内部管理体制の整備状況等を総合的に勘案しながら、同市場への上場申請に向けた具体的な準備を進めてまいります。

今後は、当該目標の達成に向け、年間 2 件程度の M&A 実行を一つの目安として、グループ会社数の拡大、買収後の PMI 及びグループ管理体制の強化、内部管理体制、情報開示体制並びにコーポレート・ガバナンス体制の一層の強化を進めてまいります。

(4) 今後の開示方針

当社は、今後も TOKYO PRO Market 上場の目的の実現状況について定期的に評価を行い、必要に応じてその進捗状況及び今後の対応方針を開示してまいります。

以上